

「そらしど」など助成

しみん基金こうべ 一般枠は6団体

草の根のボランティア活動を支援する認定NPO法人「しみん基金・こうべ」（戒正晴理事長）は23日、今年度の助成事業を決定する公開審査会を神戸市中央区の市青少年会館で開いた。分野に限定のない一般枠では、書類審査を通過した11団体から、帰る場所のない少女の居場所づくりを目指す神戸市灘区の「ボザチ・ハウス」や、医療的ケアが必要な子

どもと家族を支援する報告会を計画する神戸市北区の「そらしど」など6団体が選ばれた。総額200万円が支給される。各団体による事業内容のプレゼンテーション後、審査員9人が投票で助成先を選んだ。一般枠で他に選ばれたのは、地域情報掲示板「アプリ」ためまっぶの普及を目指す西宮市の「なごみ」▽透析患者の送迎見守りを続け

る西宮市の「支援の会ひまわり」▽はーとふるミュージックセラピーコンサートを計画する加古川市の音楽療法士グループ「りんではうむ」▽野菜の生産・販売を通して就労支援を図る神戸市東灘区の「友々会」。

審査員長の津久井進弁護士は「審査員は皆さんの応援団です。引き続き自信を持って活動してください」とエールを送った。

大規模災害の被災者を支援する活動に限定した特定枠は、西宮市の「神戸・心絆」と神戸市中央区の「ガリレオクラフインターナショナル」の2団体に決まった。【脇田顕辞】